

豊橋市議会傍聴記

地方政治
クリエイト **伊藤 秀昭**

◆明海地区の防災 源利活用施設整備に
深山周三氏(まち について行った情報公
フォーラム)は、1万 開請求に伴い、その
人が従事している明 運用について質問し
海地区の防災・危機 した。

この地区では約1 上下水道局長は条
00社が集積してい 例の第1条の目的や
るが、企業の体力差 第12条の第三者に対
が大きく合同避難訓 する意見書提出の機
練さえ難しい。特に 会の付与等に基づ
避難ルートにある開 断したこと、また第
運橋の耐震対策、新 6条の公文書の公開
たな高台設置のため 義務に基づき「公開
に高架道路の設置な 請求されたのは企業
どを要請した。この のノウハウであり、
地域の朝夕の大渋滞 非公開とした」など、
を考れば、陸の孤 答弁とは平行線のま
島になりかねない。 ま推移した。

◆多子世帯支援
中西光江氏(共産) は「国は一億総活躍
社会を叫ぶが、少子 化の原因は子育てに

◆情報公開
寺本泰之氏(紘基 会)はバイオマス資

かかる経済的負担の 増大にある」と主張 した。

全国的には旧年 少扶養控除再計算 廃止に伴い、保育料

の多子世帯の負担 が増大しているが、 豊橋市ではその影 響を抑制するため

に、保育料が上がる 場合のみ、旧階層を

全体を考えて判断を していくとして明言 を避けた。

◆海フェスタ東三 河

来年夏、開催予定 の「海フェスタ東三 河」について、その 組織体制やPRにつ

いて取り上げた のは近藤修司氏(自 民)。

などの連携、山と 海と川でつながる東 三河を前面にしての 取り組みを要請し

◆TPPと産業振 興

廣田勉氏(まちフ ォーラム)は、TP P大筋合意で特に影 響が大きいとされる 畜産農業について質

問した。

廣田氏はその対策 として、飼料自給率 の向上や第6次産業 化に向けた取り組 み、海外展開の可能 性などを質問し、適 正コストや食の安全 性をアピールしてい

くことが重要であ り、産官学一体とな ったの取り組みを要 請した。

◆ユニチカ跡地

鈴木みさ子氏(共 産)はユニチカ豊橋 事業所が閉鎖され、 27万平方メートル、 8万坪 の広大な土地がセキ スイハウスに売却さ

れたことに対して質 問した。

1951年、当時 の大日本紡績を官 民挙げての厚い 優遇策で誘致し、一 時は2千人の雇用 がなされ、豊橋の戦 後復興の大きな役 割は果たしたとい え、操業に当たっ

ての3通の公式文 書がある。そこには 「この土地を使用す ることを放棄した 場合は豊橋市に返 還する」とあること から、鈴木氏は「市 民にきちんと説明 すべきでないか」と 問題提起したが、こ こまでの議論で終 えたことは残念だ った。

◆リニアと東三河

星野隆輝氏(まち フォーラム)は第五 次総合計画後期計画

について取り上げ、 特に2027年のリ ニア中央幹線の開 通に伴う変化につい て質問した。

企画部長は「広域 交通幹線軸の整備に より、広域化する経 済圏や生活圏を踏ま えた対応が一層重要 となり、これまで以 上に東三河さらに三 遠南信といった視点 をもって政策推進に 取り組んでいく」と したが、南信州広域 連合では「リニア將 来ビジョン」を策定 し将来像を示して、 活発な議論がなされ ている。

子育て支援に活発な議論

適用する緩和措置 をしている。

中西氏は、新入園 児にも適用すると にも引き続きの緩和 策を要請した。

福祉部長はおおむ ね530人、月額4 000円ほどの影響

があり、多子世帯支 援の必要性はある が、子育て支援施策

産業部長は「国・県 と連携し取り組む。

また東三河8市町村 が団結し、地域力を 上げる意味から『東 三河』となった」と

述べ、効果的なPR を行うとした。

近藤氏は海に面し ていない新城市など との関わり、祇園祭 や港フェスティバル

産業部長は「畜産 は農業部門のなか では最も影響が大 きい。輸入により価 格面での競争激化 は避けられない。豊 橋市の農業産出額 の3割を占める畜 産の経営体質の強 化を支援していく」

と述べた。

国は支援に頼るだ けでなく、付加価値 の高い農業へ積極的 な施策の展開は急務 である。

◆ユニチカ跡地

「リニアと東三河 について」真正面か ら取り組む時が来 ているのではないの か。あと12年しか残 されていないのだ から。

次総合計画後期計画

について取り上げ、 特に2027年のリ ニア中央幹線の開 通に伴う変化につい て質問した。

企画部長は「広域 交通幹線軸の整備に より、広域化する経 済圏や生活圏を踏ま えた対応が一層重要 となり、これまで以 上に東三河さらに三 遠南信といった視点 をもって政策推進に 取り組んでいく」と したが、南信州広域 連合では「リニア將 来ビジョン」を策定 し将来像を示して、 活発な議論がなされ ている。

「リニアと東三河 について」真正面か ら取り組む時が来 ているのではないの か。あと12年しか残 されていないのだ から。